三中だより

令和５年度第11号

令和６年２月７日（水）

大田区立大森第三中学校
校　長　笛　木　啓　介
大田区中央４－１２－８

端座して全局をみる

校長　笛木啓介

　新聞やテレビ、ラジオ等を通じて、多くの教育の問題が報じられています。子どもが引き起こした問題、子どもが被害者となっている事件、教師の不祥事など、まるで教育や学校がもはやダメになってしまっているかのような報道が繰り返されています。我が三中の周りでも、「今年の三中は荒れているらしい。」とか、「いじめがはびこっているらしい。」とか、様々な根も葉もない噂話が飛び交っているようです。多くのコメンテーターと呼ばれる人たちや、学校の様子を直接見ていない人たちが、今にもわが子や自校の児童生徒が、被害者や加害者になるかもしれないとか、学校の状況はとんでもないといった不安を煽っているような面もあります。しかし、ほとんどの子どもは順調に成長しています。本校の子どもたちも、日々の授業に真剣に臨み努力していますし、生徒会活動や学校行事、地域でのボランティア活動や部活動にも一生懸命取り組んでいます。そしてなにより、本校のすべての教職員が、熱心に毎日の教育活動に取り組んでいます。

　「順調に育っている」というのは、もちろん、何の悩みも苦しみも危険もなく育っているということではありません。子どもには子どもなりの悩みや苦しみ、戸惑いがあります。中でも、いじめや不登校、引きこもりなど、必ず解決しなければならない問題もあります。しかし、そういうものを抱えつつ、それを乗り越えて成長していくのが子どもたちです。マスコミによって報道される特異な事件や、異常な事件、近所の噂話の中の荒れた学校の状況が蔓延しているわけではないのです。

　大人が冷静さを失ってはなりません。

　囲碁の世界には、「端座して全局をみる」という言葉があります。これは、局部だけに目を奪われず、冷静に全体を見渡して局面を把握するということです。今は特にそういう姿勢が大人に求められると思います。不安や不信の土壌から、健全な子どもは育たないのです。コミュニティスクールである本校では、子どもや学校にかかわるすべての大人の協働によって、子どもたちの健全な育ちを見守っていきたいと考えています。

スクールカウンセラー出勤予定日

藤田　啓子	2/6(火)、2/13(火)、2/20(火)
鳥海　真里	2/7(水)、2/14(水)、2/21(水)
田中　典子	2/2(金)、2/9(金)、2/16(金)

※大森三中　相談室直通電話
（３７７３）７８３１

２月の行事予定

日	曜	行事
1	木	⑥展示準備
2	金	学芸発表会展示の部　クラス見学（1・2）
3	土	学芸発表会展示の部　給食あり 学校公開日①～④　新入生保護者説明会（9:55～）
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	専門委員会
8	木	安全指導　学校保健委員会 13:30～
9	金	社会科見学（2）　ミニ社会科見学（1）　⑤⑥
10	土	
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	中央委員会
14	水	避難訓練（火災）
15	木	おおたの教育研究発表会　於池上会館
16	金	中央委員会
17	土	土曜補習6
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	校内研修会
22	木	
23	金	天皇誕生日　新入生標準服等採寸（午前）
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	第４回定期考査（社・美・保体）　給食なし
28	水	第４回定期考査（理・英・音）　給食なし
29	木	第４回定期考査（国・数・技家）　給食あり

学芸発表会展示の部がありました

２月２日(金)・３日(土)に、学芸発表会展示の部を行いました。校舎内、食堂や２・３階のホールや壁面には、これまでに取り組んできた生徒たちの学習の成果を展示しました。特に３日は、学校公開日でもあり、地域、保護者のみなさまに多数ご来校いただき、日頃の学習の成果を参観していただきました。また、学年ごとに作品を見学する時間を設け、参観することで、新たな着想や刺激を受けることができました。今回の展示の部で参観した感想を紹介します。

１年１組

どの作品もできがよく、上手ですばらしかった。特に「躍動感のある動物」の大きいうにやクジラが海面に出るときの様子を表現した作品を見て、本当に動いているようですごいと思った。僕も２年生でやることになるので、そのような作品が作れるように頑張ろうと思った。また、僕がすばらしいと思った作品には個人個人の独特な魅力、アイデアがあり、生かされていることが分かった。僕は何か作品を作るときは、頭をすばやく回転させて、アイデアを思い浮かべ独特で魅力がある作品を作ろうと思った。この学芸発表会展示の部の体験を通してたくさんのことを学ぶことができ、たくさんのすばらしい作品を見ることができたのでよかった。

１年３組

一人ひとり作品に力が込められていて、どれもきれいだった。三年生の作品はどれも上手でさすがだと思った。特に幼児の本がすばらしくて、一つ一つの本がまるで本物のように感じた。自分の作品も、わかりやすくできたのよかった。今年は去年以上のものを作りたい。

２年２組

自分には、持ち合わせていない発想や感性、技術などを見る時間でした。技術面で優れている人の作品も凄いと思いました。発想を活かして、シンプルなのに「すごい」と思わせるような作品も数多くあり、上手い下手はあまり関係ないんだなと思いました。

この学芸発表会で学んだ生かせることは生かして、自分の学校生活を豊かにしたいです。

２年４組

展示されているものはどれも、自分で作った作品だからか、一人ひとりの個性が感じられました。１年生では座標で絵を描くという難しいことに挑戦していてすごいと思いました。２年生はファスナーポーチ、ステンドグラスと細かい作業のものが多かったけれど、細かいからこそできることがあると思いました。３年生は躍動感ある動物が一番印象に残っています。ウニやたこなど、さまざまな海の生き物を作っていて、このエリアだけ、水族館のオーラを感じました。来年の展示の部も、どんな作品があるのかすごく楽しみです！

３年２組

今回の学芸発表会展示の部を見学して、作品はどれも、みんな個性があって、すごく見ていて楽しかったです。そして、上手な作品がたくさんありました。美術で取り組んだ作品は、それぞれ絵具の使い方や色の表現などを見て、こうやって描くといいんだなと、学ぶこともたくさんあった。見学したその場で感想をかけるように、見学のコースや見学時間、会場の工夫もされていてよかったです。

３年３組

展示されている作品を見て、どの展示でも、それぞれが丁寧に作っている作品が多かった。特に、２年生の歴史新聞すごろくはそう思った。細かなところまで工夫されていて、見ていてとても面白かった。きっと、作るのが大変だったのだろうなと感じた。また、美術の作品は、どの学年もリアルさと丁寧さが感じられる作品が多く、頑張って表現できていたのが、よかったです。